

留 学 報 告 書

記入日：2018年9月4日

氏名	氏名：小野緋里
留学先国	ドイツ
留学先大学・学部 (和文及び英語)	(和) ゲーテ大学 (英) Goethe University Frankfurt
留学期間	2017年9月～2018年8月
留学した時の学年	3年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	3,4年生(留学先大学で在籍した学年)
帰国年月日	2018年8月23日
明治大学卒業予定年月	2019年3月

留学費用項目	現地通貨(ユーロ)	円	備考
授業料			
宿舍費	2580	343,140円	月215ユーロ(28,000円)です
食費	2000	266,000円	食材自体は日本と比べるとかなり安いので、自炊をすればかなり抑えられます
図書費	20	2,660円	基本的に教科書はpdfです
学用品費	10	1,330円	
教養娯楽費	0	0円	
被服費	150	19,950円	冬用のダウンやブーツは現地で買いました
医療費	0	0円	
保険費	1,000	133,000円	明大サポートで買ったものと、現地のもの合計です
渡航旅費	123	164,310円	早めに購入すればもう少し安いかもしれません
雑費	200	26,600円	VISA申請費、携帯代(プリペイド)、寮のWi-Fi申請費
その他(旅費)	2,500	332,500円	私は10か国以上旅行に行きました

その他 (Semester Ticket)	630	83,790 円	学期の始めに払う Semester Ticket 代です
合計	9,216	1,373,280 円	

渡航関連

渡航経路	成田→フランクフルト		
渡航費用	チケットの種類	オープンチケット	
	往路		
	復路		
	合計	164,310 円	

渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。

往路復路ともに JAL です。

ガイドブックは、地球の歩き方を持っていきましたが、あまり使いませんでした。

滞在形態関連

種類 (留学中の滞在先) 例: アパート, 大学の宿舎など

寮

部屋の形態

個室 OR 相部屋 (同居人数:)

住居を探した方法

ゲーテ大学が留学生用に寮を案内してくれました。フランクフルトは土地が高いため、寮を利用するのが金銭的には一番良いと思います。寮にも値段や場所など様々な種類があり、大まかに自分で選ぶことができます。

感想 (滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

私の寮が一番安いところ (Fischstein) でしたが、立地や寮の雰囲気などは好きでした。唯一気になったところは、建物が古いということでしたが、私が帰る頃にリフォームが始まったので、そこも問題はなさそうです。他の寮では、Wi-Fi が使えない (Ginnheim) ことや、学校が遠い (Dornbusch) という問題もあったようなので、最初に寮を選ぶときにはしっかり調べたほうが良いと思います。

現地情報

現地で病院にかかったことはありますか? 大学内の医務室/診療所や附属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか?

利用する機会がなかった

利用した;

学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。

大学の教授に相談しました。内容によりますが、相談窓口はあると思います。

現地の危機地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？

幸い犯罪に巻き込まれることはありませんでした。フランクフルトは基本的に安全だと思いますが、中央駅など、一部の場所は少し危険なので、夜にその周辺は歩かないようにしました。

パソコン、携帯電話、インターネット（接続について）現地での利用はいかがでしたか？

例：寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは、WIFI接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。

私の寮は自分でルーターを買えば自由にWi-Fiを使うことができましたが、一部の寮ではルーターが禁止されており、有線でパソコンをつなぐことしかできないようでした。Free Wi-Fiは他のヨーロッパに比べると少ない気がしましたが、日本よりは多いです。

現地での資金調達はどのように行いましたか？

例：現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録しないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。

キャッシュパスポートというカードを日本で作り、そこに親に入金してもらいました。寮費の引き落としのために銀行口座の開設は必須でした。

現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。

ヒートテック、化粧水乳液(クリームはあります)、電子辞書、マスク、医薬品(ドイツにもありますが、自分に合ったものを持っていくと安心です。冷湿布はドイツにはありません)

進路について

進路

就職 進学 未定 その他：

進路決定の際に参考にした資料、図書、期間など

就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)

就職活動中・終了時に関わらず、就職活動について感想・アドバイスがありましたらお書きください。

例：留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。

進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

進学を志す留学希望者に向けたアドバイス（準備、試験対策等）がありましたらお書きください。

その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスがありましたらお書きください。

学習についてのレポート（履修した科目ごとに記入してください）	
留学先で取得した単位数合計（科目数）	本学で認定された単位数合計（科目数） ※該当項目にチェックのうえ、記入してください。
24 単位（4 科目）	<input checked="" type="checkbox"/> 11 単位（4 科目） <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません（理由： ）
以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスを含めてお書きください。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)	Deutsch Intensiv für Austauschstudierende
履修した授業科目名（日本語）	留学生のためのドイツ語集中講座
科目設置学部	
履修期間	1 か月
単位数	4
本学での単位認定状況	4 単位認定（本学で認定された単位数を書いてください）
授業形態（チュートリアル、講義形式等）	クラス授業
授業時間数	1 週間に 300 分が 5 回
担当教員	Frau Maria Vida/ Herr Ivica Taskoviv
授業内容	9 月のみの短期集中のクラスです。レベル別で 5 クラスに分かれており、自分の能力にあった授業を受けることができます。発言する機会はかなり多かったです。
試験・課題など	ほとんど毎日問題を解く小さな課題が出ますが、難しくありません。成績は出席、プレゼンによってつけられます。
感想を自由記入	毎日朝から授業があるのは大変でしたが、ドイツに来てすぐで友達がいなかった私は、この授業で友達を作りました。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	AkadeMi(Akademische Mittelstufe)
履修した授業科目名（日本語）	ドイツ語講座
科目設置学部	
履修期間	冬学期
単位数	9
本学での単位認定状況	3 単位認定（本学で認定された単位数を書いてください）
授業形態（チュートリアル、講義形式等）	クラス授業
授業時間数	1 週間に 180 分が 2 回
担当教員	Djamila Lahr è che
授業内容	B1, B2, C1 の 3 つのレベルに分かれています。発言する機会が多いので、文法を学びながらもスピーキングを鍛えることができます。
試験・課題など	成績は、学期の途中と最後にあるプレゼンと、期末レポートで決まります。

感想を自由記入	クラスによって、また学期によって人数が大幅に変わりますが、私の時は8人くらいの少人数だったので、皆仲が良く、雰囲気の良いクラスでした。
履修した授業科目名(留学先大学言語)	Aussprachetraining
履修した授業科目名(日本語)	発音トレーニング
科目設置学部	
履修期間	冬学期
単位数	2
本学での単位認定状況	1 単位認定(本学で認定された単位数を書いてください)
授業形態(チュートリアル, 講義形式等)	クラス授業
授業時間数	1週間に120分が1回
担当教員	Elisabeth Althausen
授業内容	受講者数にもよりますが、私の時は先生が一人一人の発音をチェックしてくれました。また、普通のドイツ語のクラスでは習えないくらい細かい発音の違いを教えてくださいました。
試験・課題など	試験はありません。授業の出席率と、授業内での発言で成績が決まります。
感想を自由記入	普通のドイツ語のクラスでは、文法は扱いますが発音は全くと言っていいほどやりません。ですので発音だけを扱う授業はありがたかったです。
履修した授業科目名(留学先大学言語)	Akademi(Akademische Mittelstufe)
履修した授業科目名(日本語)	ドイツ語講座
科目設置学部	
履修期間	夏学期
単位数	9
本学での単位認定状況	3 単位認定(本学で認定された単位数を書いてください)
授業形態(チュートリアル, 講義形式等)	クラス授業
授業時間数	1週間に180分が2回
担当教員	Djamila Lahr è che
授業内容	冬学期のドイツ語講座とほぼ同じです。
試験・課題など	冬学期同様、出席とプレゼンとレポートで成績が決まります。
感想を自由記入	冬学期と違い、人数がすごく多く、多少は発言率は減りましたが、その分友達が増え、ドイツ語で話す時間は増えました。

留学に関するタイムチャート

2017年 1月～3月	以前はドイツに留学するとは全く思っていませんでしたが、1月に学部間協定の留学先にドイツが追加され、なおかつ英語留学もできるということで、この留学を決めました。応募条件を満たすために、必死に TOEFL の勉強をしました。
4月～7月	英語の資格で応募条件を満たしたものの、日本学部には英語の授業がないことを知り、ゼロからドイツ語の勉強を始めました。渡独まで半年もないのにドイツ語の数字もわからないレベルだったので、心が折れそうになりましたが、毎日語学学校に行き勉強をし、A2までをすべて終えました。
8月～9月	8月30日に渡独しました。ドイツに来てすぐは、ビザの取得や銀行口座開設などの手続きに追われました。また、ドイツ語集中講座が毎日あり、精神的に辛かったです。授業でも、国ごとでグループができてしまい、日本人はおろか、アジア人がほぼおらず、友達ができなくてそれも辛かったです。
10月～12月	ドイツ語の授業の他に、普通の日本学の授業も始まりました。授業自体はそこまで理解できていないにも関わらず、日本学の学生のおかげで9月のような辛さはなく、楽しく学ぶことができました。手続きもほとんど落ち着きました。
2018年 1月～3月	冬休みは2週間以上かけて東ヨーロッパを旅行しました。冬休み明けの授業では、多少の語学の伸びは実感したものの、日本学の授業は相変わらずよく理解できず、ショックでした。
4月～7月	夏学期が始まり、新しい授業で新しい友達との勉強が始まりました。インプットよりもアウトプットのほうが大事だと思った私は、積極的にドイツ人と交流しました。
8月～9月	帰国直前は、語学の勉強というよりも、ドイツという国を楽しみたいと思い、仲の良かった人と遊びながら、今まで行った自分の好きな場所などをまわりました。ドイツ語の勉強を始めて約1年半が経ち、自分の言いたいことを何一つ不自由なく話すことや、授業を完璧に理解することは正直未だにできませんが、1年半にしては満足のいくドイツ語力を手に入れることができましたと思います。
10月～12月	

留学体験記

留学しようと決めた理由	ずっと同じ日本という国で育ってきた私は、日本の価値観が当たり前になっていました。もっと自分の知らない世界を知り、自分の価値観を変え、新たな考え方を知りたいと思いました。また、世界から見た日本というものを知りたかったのも理由のひとつです。日本から見た日本と、世界から見た日本は違うのではないかと思います、客観的に日本という国を見たいと思いました。
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備	英語留学として留学条件を満たしましたが、実際に授業はすべてドイツ語でしたので、毎日語学学校に通い、必死にドイツ語の勉強をしました。また、最初は留学生同士では英語で話すことも多かったのですが、英語を話す力もあればなお良いと思います。語学以外には、特にありませんが、強いて言うならドイツの文化を調べて理解しておく、生活しやすいと思います。
この留学先を選んだ理由	正直、当時の私は、ヨーロッパだったらどこでも良いと考えていました。ですが、自分が今まで全く勉強したことのないドイツ語を話すドイツという国に飛び込めば、英語圏よりもさらに環境が変わり、学ぶものも多いのではと思いました。また、両親が以前8年ほどドイツに住んでいたというのも決め手の一つでした。
大学・学生の雰囲気	留学生は割と多い印象でしたが、日本人は少ないです。私が所属していた学部は、日本が好きなお客ばかりなので、すごく興味を持ってくれました。日本学部は古い方のキャンパスでしたが、新しい方はとても大きく綺麗なため、休みの日に学校に行って課題をしたり、庭でリラックスしたりできます。
寮の雰囲気	基本的に寮の人と交流することはありませんでしたが、キッチンで料理をするときに話した人や、隣の部屋の人などとは、一緒にご飯を食べに行きました。ですが、すれ違った人とは絶対に笑顔で挨拶はしますし、寮の雰囲気自体は良いです。また、私の寮のハウスマイスターは気さくで優しい人でしたが、寮によってはハウスマイスターの感じが悪いところもあるようです。
交友関係	最初はほとんど友達がおらず、本当に辛い思いをしました。しかし、私が所属した学部が日本学ということもあり、周りのドイツ人がたくさん話しかけてくれたので、そこからはどんどん交友関係が広がりました。また、日独の交流会や、日本学の飲み会などもあるので、そこで友達を増やすこともできます。
学習内容・勉強について	私は日本学部に所属し、日本について学びました。日本人が日本について学ぶというのはおかしい気もしますが、留学の動機の欄でも書きましたように、日本から見た日本とドイツから見た日本は違うことも多く、新鮮でした。やはり授業はドイツ語なのでかなり大変でしたが、日本についての授業なので、他の授業に比べると理解しやすいのではないかと思います。
課題・試験について	日本学の課題は、プレゼンとレポートです。レポートは、日本で受けている授業よりもはるかに文字数が多く、大変そうでした(私は受けませんでした)。語学の授業もプレゼンとレポートが課題でしたが、大変なのは学期末だけでした。ですので、自分で復習をすることが大切です。

大学外の活動について	日独の交流会にほぼ毎週行きました。日本人もいるので、日本語を話してしまうと敬遠する人もいますが、ドイツで暮らす上のアドバイスをもらえるうえに、ドイツ人の友達も多くできるので、私は良い交流の場だと思います。
ある平日のスケジュール	8時：起床 10時～13時：授業 14時～17時：自主学習 17時～19時：自由時間 19時～22時：友達とご飯など 0時：就寝
ある休日のスケジュール	9時：起床 10時～16時：アルバイト 18時～23時：日独交流会の皆とカラオケ(日本学の皆と Stammtisch) 0時：就寝
留学を志す人へ 「これを知っておいて欲しい」と思うこと	確かに留学中に大変なこと、辛いことはたくさんあります。でも、そんなときに助けてくれる人は絶対にいます。私は留学を通じて、もちろん語学や文化も学びましたが、人のやさしさも学びました。不安もあると思いますが、自分の周りの環境を変えることで、自分の価値観は大きく変わります。自分の時間が多くある学生のうちに留学をし、日本に住んでいるだけでは気づくことのできない、新しい考え方や文化に触れてほしいです。

留学中の様子

